

学校だより
「まんだ」
No.14

自他を大事にする子供 学び続ける子供 共に未来を切り拓く子供



認める力

やりぬく力

表現する力

はたらく車に乗せてもらったよ

1年生は、国語で「じどう車くらべ」を学習します。

そこに登場する車は、バスや乗用車、トラック、クレーン車です。そして、それらの車がどんな「しごと」をしているのか、そのためにどんな「つくり」になっているのかを読み取っていきます。

12月1日、加来建設さんのご協力により、教科書には載っていない「仕事をする車」に、1年生が乗せてもらいました。と言っても、運転はもちろんできないので、運転席に座ってクラクションを鳴らして喜んでいました。

ショベルカーは、その名のとおり、ショベルに目が向きがちですが、タイヤの代わりにキャタピラになっているのはどうしてか？運転席のまわりに壁がないのはどうしてか？高所作業車は、クレーン車と似ているけど違いは何なのか？タイヤローラーの重さはいったいどれくらいか？そんなことを疑問に思ってくれるといいなあと思います。そして、よくできているなあ！と感心してくれたら学びが深まります。

加来建設の方から、「降りるときに気を付ける。ジャンプしない。」と注意を受ける子がいます。確かに、乗るときは作業車に体を向けて乗りますが、降りるときは、作業車に背を向けて降りています。車は止まっていても、むやみに近づこうとすると注意されます。当たり前の危険予知の訓練にもなったようです。

写真で見ると、実際に動いているのを見て、乗ってみるのではまったく違います。「ガガガッ」と土を削る音、エンジンのにおい。動く瞬間に揺れる高所作業車。

教科書で読んだことに加え、体感したことで、心に深く残ることでしょう。



はたらく万田小

6年生が、地域と協働して荒尾駅前の花壇の整備を行っています。11月

21日には、植え替えのために、これまで植わっていた夏の花を撤去する作業を行いました。地域からの説明を受け、「6年生の皆さん、よろしくお願いします。」の会長からの言葉に子どもたちも、一生懸命、夏の花や雑草を抜いてくれました。

すると、たばこの吸い殻やビニール袋など、ごみもいっぱい落ちていることに気づきます。「先生、ごみもとるんですか？」というので、「お願いします。」と答えると、「こんなところにごみを捨てんなよ。」と誰とも知らない人にぶつくさ言いながらごみもとってくれました。地域のためにはたらくということは、地域の一員として故郷を愛することにつながります。



明日は授業参観

12月5日(金)は、今年最後の授業参観です。6年生は、万田坑にて保護者の方々をガイドします。4年生は、12月6日(土)に行われる荒尾市人権フェスティバルのステージ発表を1日早く見てもらいます。インフルエンザが心配ですが、ぜひご来校いただき、子どもたちの頑張りを見ていたければと思います。学校運営協議会の方々にも見ていただく予定です。大変お世話になります。